

# 河川情報の活用[CommonMPの実践]研修の 研修員を募集します！

CommonMP<sup>(\*)</sup> の演習を中心に、実務に役立つ水理解析技術の向上を図ることによって、河川管理に関する実践力が身につきます

\* CommonMP (Common Modeling Platform for water-material circulation analysis:水・物質循環解析のための汎用プラットフォーム)は 河川流域の複合現象をシミュレートするための基盤ソフトウェアです。2009年から国土交通省・関係社団法人による産学官連携コンソーシアムを設立して開発に着手、CommonMPホームページ (<http://framework.nilim.go.jp/>)において無償提供されています。

## 【平成30年度研修参加者の声】

- 下流を掘削すると上下流の水位がどうなって、更にそれらを改善するにはどうすればよいか、トライアルの計算で見えてくることを実感できた。(国の職員)
- 課題をグループで取り組むことにより、互いのチェックや、意見の出し合いで水理解析技術の理解が深まった。(国の職員)
- 洪水予測計算や河道計画の計算は、研修等で勉強しなければ、職場内のOJTでは修得は難しいと思われる。(国の職員)

### ■研修内容

- (1) CommonMPを用いた流出計算・河道計算により、流域の流出特性、河道の流下能力などの解析技術を修得
- (2) 河川計画・河川管理に用いられる地理空間情報の整備・利活用の理解

### ■対象者(定員20名)

国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市又は独立行政法人等において、河川に関する業務を担当し、水理解析に関する知識を必要とする者。実務経験の有無は問いません。

### ■募集期間

令和元年10月3日(木)まで

### ■研修期間・場所・経費

期間: 令和元年11月18日(月)~22日(金) 5日間

場所: 国土交通大学校小平本校

経費(予定): 食費1,550円/日 寮費1,250円/日

テキスト代 約8,000円(予定)(いずれも税込み)

### ■過去の实習から「樹木管理・河道掘削効果」解析例

